

## I 共通目標

### 地域の豊かさを支え、高いブランド力で国内外に展開する農林水産業

ブランド化や生産性の向上等による競争力の高い農林水産業経営を実現することで、若者が産業としての魅力を感じ、多様な農林漁業者一人ひとりが豊かさを実感できる農林水産業を目指す

**＝共通目標指標＝** ■農林水産業を起点とする産出額3,500億円  
■生産農業所得1.3倍、東北1位

分野別の7つの基本戦略に基づくプロジェクト方式で推進  
66のプロジェクトと138の数値目標を設定

## II 7つの基本戦略と66のプロジェクト

### 【戦略1】 多様な人材が活躍できる農業経営の実現(15PJ)

新たな担い手育成確保支援、輝くアグリウーマン育成、農業トップランナー育成・発展、担い手農地集積・集約化促進、スマート農業普及拡大、中山間地域持続的農地保全推進、元気な地域づくり支援、鳥獣被害防止対策 など

### 【戦略2】 水田農業の収益性の向上(6PJ)

県産米ブランド化戦略、県産そばブランド化推進、水田農業低コスト化基盤整備促進 など

### 【戦略3】 「園芸大国やまがた」の実現(14PJ)

山形さくらんぼ世界一ブランド強化、西洋なし産地ブランド強化、山形えだまめ・すいか・日本一産地化、野菜産地ランクアップ、やまがた次世代型施設園芸推進、露地花き産地拡大、園芸作物大規模集積団地推進、水田畑作化基盤強化 など

### 【戦略4】 県産農林水産物の魅力の向上と販売促進(14PJ)

農林漁業者自らの6次産業化、農林漁業者と食品製造業者等との連携による6次産業化、6次産業化推進基盤確立、「おいしい山形」流通戦略推進、県産農産物等販路拡大、県産農産物等輸出拡大、有機農産物生産拡大・ブランド化、安全農産物生産推進 など

### 【戦略5】 畜産業の競争力強化(7PJ)

地域で支える畜産クラスター推進、やまがたの和牛増頭加速化、県産飼料生産拡大 など

### 【戦略6】 「やまがた森林ノミクス」の推進(6PJ)

森林ノミクスを支える人材育成・確保、再造林推進、県産木材率先利用 など

### 【戦略7】 水産業のさらなる振興(4PJ)

海面漁業生産基盤強化、県産水産物付加価値向上推進、内水面漁業振興 など

## III 主な成果指標の進捗状況

[凡例 実績年度目標対して ◎:達成、○:概ね達成、△:遅れ、未達成]

主な目標指標	現状値	直近の実績値	目標値(R2)	凡例
新規就農者(4年間の累計)	1,095人(H24~27)	1,001人(H29~R1)	1,400人(H29~R2)	○
女性農業者の数(指導・青年農業者)	34人(H27)	53人(R1)	60人	○
販売金額1千万円以上の家族経営体数	2,351経営体(H27)	3,200経営体(R1)	3,500経営体	○
販売金額3千万円以上の家族経営体数	199経営体(H27)	515経営体(R1)	550経営体	◎
担い手への農地集積率	60.2%(H27)	66.4%(R1)	78%	○
中山間地域の農地保全取組面積	7,853ha(H27)	8,516ha(R1)	8,300ha	◎
「つや姫」の価格ポジション	魚沼産コシヒカリに次ぐ(H28)	魚沼産コシヒカリに次ぐ(R1)	魚沼産コシヒカリに次ぐ	◎
大区画ほ場整備面積(累計)	3,160ha(H27)	3,750ha(R1)	4,000ha	○
水稻直播栽培面積	2,360ha(H28)	2,732ha(R1)	3,500ha	○
果樹産出額	656億円(H26)	723億円(H30)	710億円	◎
野菜産出額	364億円(H26)	477億円(H30)	500億円	◎
花き産出額	70億円(H26)	69億円(H30)	90億円	△
新たな大規模集積園芸団地数	-	17団地(R1)	20団地	◎
次世代型施設園芸の拠点数	-	3か所(R1)	5か所	△
産地直売所販売額	93億円(H27)	118.4億円(R1)	130億円	○
全国の食料品製造業における本県の食料品製造業の製造品出荷額の割合	1.2%(H26)	1.1%(H30)	1.9%	△
主要都市の中央卸売市場における県産農産物(果樹・野菜)の取扱金額	5,562百万円(H27)	5,072百万円(R1)	6,100百万円	△
県産農産物の輸出量	987t(H27)	1,650t(R1)	1,300t	◎
有機農業の取組面積	696ha(H27)	609ha(R1)	990ha	△
繁殖雌牛頭数	6,140頭(H27)	7,690頭(R1)	7,500頭	◎
飼料作物の作付面積(飼料用米含む)	10,333ha(H27)	10,070ha(R1)	11,200ha	△
林業の新規就業者数(4年間の累計)	222人(H24~27)	189人(H29~R1)	270人(H29~R2)	○
再造林率	33%(H27)	64%(R1)	100%	△
民間施設(産業用建築物)の木造化率	43%(H27)	37%(R1)	55%	△
海面漁業・養殖業の生産額	24億円(H26)	22億円(H30)	33億円	△
漁業の新規就業者数(4年間の累計)	51人(H24~27)	19人(H29~R1)	70人(H29~R2)	△
内水面漁業の生産額	8.3億円(H26)	6.2億円(H30)	9.2億円	△

## IV 進捗の概要と令和2年度の対応状況

### ◎ 進捗の概要

■共通目標指標の「農林水産業を起点とする産出額」は、増加傾向(H26:2,874億円→H29:3,224億円)にあるものの、その伸びは小さくなっている。

※なお、H30の農林水産業を起点とする産出額は、今秋に確定する予定であるが、農業産出額は2,480億円と公表されており、H29対比+39億円となっている。

■H30の「生産農業所得」は、前年比145億円の減少となったものの、1,080億円(H30目標:1,050億円)となり、青森県に次いで東北2位となっている。

■数値目標138の達成状況(令和2年9月末時点)は、H30実績値の「達成」、「概ね達成」を合わせた達成率が75.7%、R1実績値の達成率が73.7%となっている。

■新規就農者数は、平成28年から4年連続で300人以上となっており、着実に目標に近づいている。

■米では「つや姫」が魚沼産コシヒカリに次ぐポジションを維持し、園芸では果樹・野菜の産出額が増加している。

■産地直売所の販売額は、増加傾向にあり、県産農産物の輸出量は目標を達成している。

■林業では新規就業者数が増加しており、再造林率は目標を下回っているものの着実に増加している。

■水産業は、外国船舶の違法操業等の影響に伴うスルメイカなどの不漁により、生産額が減少している。

### ◎ 令和2年度の対応状況

■本戦略の最終年度となる令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により3月から5月にかけて牛肉や花き、高価格帯の果物や水産物の価格が低下したことを踏まえ、市町村や関係団体とともに緊急的な課題への対応策を実施している。

■引き続き、県では、本感染症の影響を見極めつつ、農林水産物の需要低迷や価格急落に適切に対応し、農業者等の営農意欲の維持を図り、第3次農林水産業元気再生戦略の目標達成に向け、各プロジェクトの取組みを進めていく。